

祝入学おめでとう



2021.4.6 新入生33名 児童総数192名でスタート



発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第12号 —
2021.4.30



4月5日。そのニュースは朝刊の一面を飾った。

「池江V 五輪へ」

白血病から2年「勝てるのはずっと先だ」と

100mバタフライ決勝。そのレースをライブで見ている私は、直後、プールの中で肩を震わせ涙する池江璃花子選手の姿に、深い感銘を受けた。

19年2月、病気を公表。それからわずか2年。難病と闘いながら、再び日本の頂点に立った。

2021.4.30

祝入学おめでとう

校長 都筑祐一

『勝つための練習もしっかりやってきたし、最後は「たいたいま」という気持ちでこのレースに入場してきたので、自分がつらくてしんどくても、努力は必ず報われるんだと思います』

涙ながらに語る彼女の言葉に、復帰への道のりが、並々ならぬものであったことが窺える。

そしてこの快挙は、難病と闘っている人やその家族、さらに夢をあきらめようとしている人たちの希望の光になったにちがいない。

凡夫の私でさえ、一年を言い訳にするな。子どもたちのために体を張ってがんばれ」と背中を押された気持ちになった。

ところで、私のなかに池江選手の活躍と重なる児童の作文がある。昨年4年生だった〇〇〇〇〇〇さんが書いた作文だ。市のコンクールで、優秀賞に輝いた。

そこには、まったく泳げなかった自分が水泳部に入り、家族や先生の応援を得て、日ごと成長していくさまが綴られていた。タイトルは、「すごい自分」

私は気持ちの入ったこのタイトルがとても気に入った。「やればできる」という自信をもつこと。きっとこれが生きる力となる。

復活を果たした池江選手も、「すごい自分」を幾度も重ねながら、つらくしんどい道のりを乗り越えてきたのだろう。

4月6日。新入生33名を迎え、令和3年度がスタートした。改めて校訓「力いっぱい」のもと、子どもたち一人一人に「すごい自分」の花がたくさん咲くよう常南教育を進化させていきたいと思う。

「力いっぱい」とは、できるまで頑張ること。そして納得いくまで頑張ること。子どもも教職員も保護者も、力いっぱい合言葉に進みたい。

